

| |
|---|
| 令和5年度 中央区立泰明小学校 外部評価報告書 |
| 評価委員：藤井千恵子委員長、和地泰志委員、山本佐江子委員 報告書作成者：和地泰志委員 |
| 評価時期 令和6年2月 |
| <p>1 重点目標の評価</p> <p>重点目標1について 「思いやりの心の育成」</p> <ul style="list-style-type: none">・校内で児童に会うと、挨拶ができない子や言葉遣いが良くない子がいる。挨拶をすることでお互い気持ちがよくなる。また、相手を思いやることができるようになる。自分たちも含めて大人が率先して挨拶をしていくようにする。・毎年、年度末の評価で、児童のバスの乗車について話題になっている。約250人の児童がバスを利用しているとなると、乗車について学校が様々な対策をとっても、一緒に乗車した乗客から苦情が出てくることは当然ではないか。学校は、その都度、児童に指導をするが、公共の乗り物を利用する環境としてどうかと思う。他の特認校に、スクールバスがあるのであれば、抜本的な改革を考えていくときかもしれない。低学年だけでもスクールバスにすることは、できないか。バスの苦情で、学校の評価が下がってしまうことも考えられる。 <p>重点目標2について 「確かな学力の保障と学習意欲の喚起」</p> <ul style="list-style-type: none">・学力調査の結果から、理科の結果が他の教科に比べて低い傾向にあることが気になる。実験や観察は、児童にとって楽しいと思うが、予想を立てる時間や考察をする時間をしっかり確保し、学習内容の定着を図ってほしい。 <p>重点目標3について 「児童の健康づくりの推進」</p> <ul style="list-style-type: none">・体力向上に向けて、泰明タイムやマイスクールスポーツの持久走の取り組みが、年間を通して計画的・継続的に行われている。ソフトボール投げは、日常生活ではなかなかできないので、学校での取り組みが大切だと感じている。 <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <ul style="list-style-type: none">・タブレットは重いのに、毎日持ち帰っている。クラスや学年にもよると思うが、家庭での活用が昨年度より減っていると感じている。毎日持ち帰るのであれば、ドリルパークの取り組み等、家庭での活用の充実を図っていくことが課題だと感じている。 <p>3 その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none">・PTA活動の負担が大きいという声がある。今年は、PTA活動がしっかりできたので、負担に感じた保護者が多いのではないかと。PTA活動を通して、やってよかったと思えるように、改善したり、効率化させたりしていきたいと思っている。 |